

ひかりの丘



コロナに負けるな! りょうご園 マスク コレクション



目次

2020年の療護園	2~3	ご入学おめでとうございます	8
3.11あの日から…	4~5	りょうご園カフェへようこそ!	8
大河内先生の想いをたどる…	6~7		

第104号

2021.3.31

社会福祉法人 いわき福音協会

福島整肢療護園

〒970-8001

福島県いわき市平上平窪字

古館1番地の2

TEL.0246-25-8131

FAX.0246-22-1259

<https://ryogoen.jp>

E-mail.info@ryogoen.jp



2020年の療護園

2020年、入園者さんはどのように過ごされたのか、ご紹介します。

6/16火 ワンダーファーム



10/12月 ワンダーファーム



10/29木・30金 ハロウィン



11/8日 アクアマリン



11/9日 ほるる



12/24木 クリスマス



JRC部高校生の皆さんから
たくさんのカードが届きました

12/21日～クリスマスウィーク



今年はコロナの影響により、クリスマス祝会が中止になりましたが、
密にならないようにクリスマスウィーク(一週間)を開催しました



3.11 あの日から…

「震災から10年」 副園長 吉原 康

平成23年(2011年)3月11日(金)午後2時46分東日本大震災の発生から10年が経ちました。

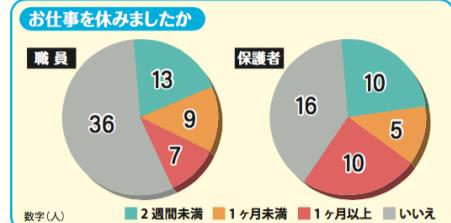
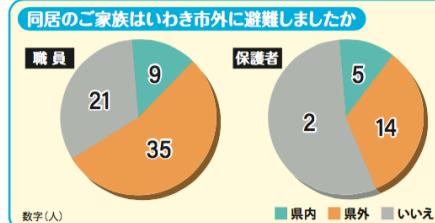
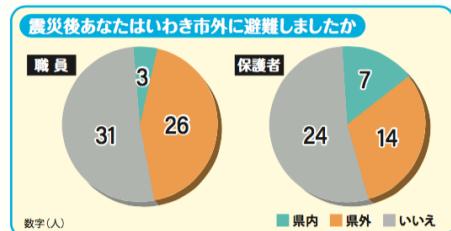
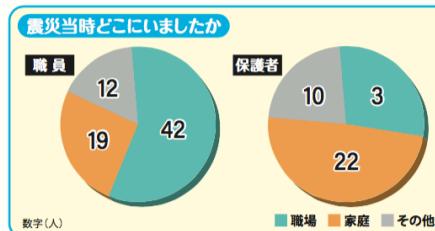
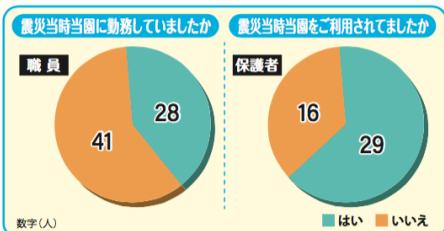
この10年の間、私たちは震災復興のために多くの苦難を乗り越え、努力してまいりました。

しかし、その間にも一昨年10月の水害をはじめ、つい先日2021年2月13日の震度5強の地震など、様々な自然災害は繰り返されています。

また、昨年末世界中に強い影響を与える新型コロナウイルス感染拡大もある意味私たちに、いつ何時思いもよらぬ出来事が起こりえることを教えてくれました。

そこで私たちは10年前の震災を改めて振り返ることで、今後の私たちの生活に活かされることがあるのではと考え、震災についてのアンケートを実施しました。

今も、そしてこれからも、日々の備え、心の備えが必要です。その参考に少しでもしていただければ幸いです。



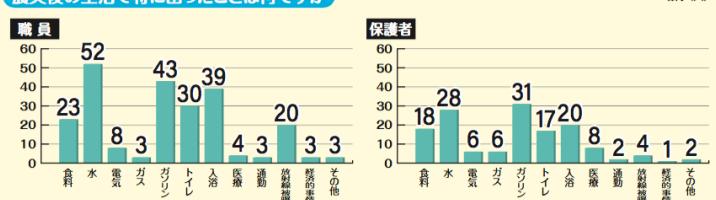
Q. 震災を経験して日頃から備えている事、心掛いていることはありますか？

- A.
- 防災用品、生活用品の準備 ●食料、飲料水、タンク等の備蓄
 - 避難経路の確認 ●ガソリンのこまめな給油 ●家族、親戚、隣組の連絡網
 - 薬、医療用品の準備 ●緊急時の家族の連絡方法、集合場所の確認、連絡ツールの強化
 - 水を風呂にためて、すぐに捨てない ●ゆうちょ銀行の口座開設(全国にあり、手数料がかかるない)

Q. 震災の経験がその後の災害等で役立ったことがありますか？

- A.
- 避難や断水、停電時の対応を冷静に考えて行動する ●避難の意識を持つようになった
 - 命を優先する事、家族の大切さ、周囲への感謝 ●自分だけ大丈夫と思うな

震災後の生活で特に困ったことは何ですか



療護園設立から
現在へと続く光の道
大河内先生の
想いをたどる…



福島整肢療護園は、どうやら形はどうしかしながら、歩内側に踏み込むと、どうぞご覧くださいという勇気がなかった。職員の定員が足りないばかりか、内容が低い。専属の固定した医師がない。日本医大の斎藤教授がなくなってきたら、医局からの医師派遣が中止されてしまった。医師は私ひとりとなってしまった。治療だけなら、私ひとりでもやる、と力んでみても、園長としての業務は、さらに私を二重、三重にしばりつけていた。到底ひとりでやれるはずがない。国立病院にいる橋倉一裕博士や、水谷兼見博士や私の弟の橋田信夫らが、躍起になって奔走してくれたが、徒労に帰した。そのとき私は、斎藤教授と同じく、肢体不自由児協会の理事だった岩原寅猪教授を思い出した。当たって砲けろ！ と、私は慶應大学の整形外科教授室に、岩原教授を訪ねた。



副園長 吉原 康



— 聖書 ヨハネの手紙第一 4:18 —

開園以来の経緯を語って、福島整肢療護園の使命に対して、慶應大学整形外科教室のご協力をお願いした。私には私心がなかった。私の事業ではない。民立民営であっても、これは社会のものだと思っていた。岩原教授が拒むはずないと確信して、ぶつけるようにして話した。私は岩原教授の決断によって、ビンチを切り抜ける事ができた。以来私が園の医務担当者は、慶應大学の整形外科医局から派遣されるようになった。しかし固定した赴任ではなく、半年か、一年絆つと医師は交代した。やっと園児の個性がわからはじめ、職務の性格に慣れたころには、次の医師と交代するところに、我が園の弱点があった。

園長はますます多忙な仕事を、つぎつぎと背負いこんだ。人園を希望しながら、定員一杯のため療護園に入園できない子どもたちの相談や、親たちの指導のために、私は県内六カ所に肢体不自由児の会を結成させたために奔走した。病室拡張や内部改革のため、資金作りの運動もしなければならなかつた。

海外から帰ってくると、講演や座談会が待っていた。私は療護園に一日じゅう出勤して、園長室に丁寧と落ちついていることができなかつた。園長の不在中、事務の処理をして、私によく連絡できるようにするために、副園長制をとりたかった。しかし医者は、専門的技術には、きわめて熱心であるが、教育全般にわたって運営を考え、子どもたちの生活の中に溶け込めるような、適当な医者を求めるのは困難であつた。

やむなく私は、理事のひとりを、私の不在中の園長事務を取扱い、私との連絡を計って、私の非常勤の欠点をカバーしようとした。当初は、私の意図は、円滑にいくそうに思つた。しかしまたこの園長事務代行の制度は誤りであることを知つた。職員は熱意を失い、事務長は生徒を欠いて、不満の私語が私の耳にはいつてきつた。

私は昭和三十七年四月、思い切った機構改革を断行した。失敗と気がついたら、アッといつ間もなく園長事務代行制を廃止してしまつた。職員は、総務部、医務部、医務部、生活部、食育部の四部制であるのを、総務部と事務部の二部制にまとめてしまった。総務部(事務長)の下に、事務係、給食係、児童係(児童指導員、職業業業指導員、心理判定員)、業務係(ボイラー士、運転士、洗濯手、農園手)の四系とした。医療部に、医務係、看護係(婦長)の二係を設け、医務係の下に、医師、X線技師、検査技師、理療士、機能訓練士、言語治療士、聴能療法士、日常動作訓練士(保母)、医療社会事業委員を置いた。

看護係(婦長)の下に、看護婦(准看護婦)、保母(保母助手)、補修員、清掃員をおいた。この機構改革のねらいは、医療部の下に、療育業務のすべてを置いた事。児童指導員の所属と業務分担をはっきりさせた事。保母と看護婦の、業務上の連絡を円滑にして、保母の立場を明確にしたことであつた。我が園で、從来児童指導員は、最も働きにいく立場に置かれていた。それは、医師、訓練士、看護婦、保母、

養護学校との間に介在して、そのどちらにも関連を持ち、児童の生活指導の責任を持っている他に、児童指導員の人間性が要素のひとつになっているところに、難しさがあつた。問題を起こすのは、事務との間と、保母との間に多かつた。最も密接であるべき保母との間のトラブルは、保母の立場が明確でなかつたからであった。保母は、児童の日常動作の指導としつけが中心であり、いつの間にか、食事、衣類の脱ぎ着や、排便の世話に終始していた。医療法の下では、保母は看護助手であり、児童福祉によれば、保母としての職制を認めている矛盾に対して、私は保母の立場をはっきりさせた。つまり児童の生活、日常動作は、すべて訓練の応用であり、延長であるから、保母は日常動作の訓練士である。保母は看護助手では無いのである。そして保母は、稚児婦ではない。施設が病院であるから、保母は看護助手であると言ふ解釈は滑稽である。保母は、児童指導員の技術の中も、教養からいっても、看護婦の下風にあって働く事は、内心のプライドが許さない。保母は、看護婦と協力して主として生活指導をすることにしてあったが、理屈でわかっていても、感情が納得しないのである。

木に竹をついだような肢体不自由児施設は、表面、平和を装っていたが、施設内の底流には、冷たい感情が流れ、そして淀んでいた。子どもがおしゃべりを泣いていた時、排便は保母の分担だ、いや看護婦がやるべきだと、お互いに譲らなかつた間に、子どもは泣きながら粗相をしていましたなどという、嘘

のような過失があつたことを、私は告白する。一時は、保母をなくしてしまつて、看護婦だけで、生活指導、寝までやらせようとしたことがあつた。しかし看護婦の方から、病室の日常生活指導と、情操教育の指導に、保母を派遣してもらいたいと要求して、保母の立場を事実上認めざるを得なくなつた。児童心理を捉えて、子どもを指導する技術は保母に一步も二歩も離はなければならなかつた。反面、生活指導は、保母の分担であるとして、保母に一任しておいたら、いつの間にか、施設の中に、児童ばかり集めて、保育所的な雰囲気を作つて、孤立していった。

保母は保母同士で、グループを作つて、働いてる間は、表面スムーズに仕事が進んでいた。子どもは楽しもうであった。これはいけないと感じた。脛性麻痺児の療育は、とてもこんな状態では指導できなかつた。看護助手の下に置かれていれば、給料もこれに準じている。こんな間違いを放つておけない。私は保母を看護婦と同格にした。機構改革を行つた翌年一月に、慶應大学整形外科医局から月村泰治博士が赴任された。月村博士は、五年前に赴任して、約一年半勤務されたことがあつたので、園の事情に詳しかつたから、選任者であった。初めて、我が園に腰を下しした医師を迎えることができた。毎月来園されて、診察と手術も続けてくれた。泉田講師の、目立たないご協力と、岩原教授のご援助の結果、ようやく医療の体制は整つてきた。

ニューフェイス紹介
new face

新たなスタッフ共々、
今後ともよろしく
おねがいします!!



7月よりはまなす荘より異動してまいりました椎名です。見かけた際にはお気軽にお声がけください。よろしくお願ひいたします。



群馬県高崎市から来ました植杉です。歳だけとっても新人ですが、生懸命頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



4月から勤務している高安です。まだまだ至らぬ点も多いかと思いますが、みんなのお力になれるよう努力しますのでよろしくお願ひいたします。

出典『光の丘の子どもたち』



ご入学おめでとうございます

この春、福島県立平支援学校に森島健くんが入学しました。

健くんのお母さんとおばあさん・ご家族からコメントをいただきました。

●小学校入学おめでとう。コロナもあり、入学式ができるのかと不安もありましたが、無事入学式を迎える事が嬉しく思います。新しい環境で不安もあると思いますが、たくさん友達を作つて、楽しい学校生活を送ってね。
母より

●健、びかぴかの1年生！小学校入学おめでとう。楽しいこと、うれしいこと、いっぱいありますように、大好きな学校に毎日元気に通つてね。
祖母より

●1歳から療護園でお世話になり先月無事7歳の誕生日を迎えました。健とどの様に向き合い、育てていけるのか不安な私たち家族に、いつも明るく優しく接していただいたスタッフの皆様のおかげです。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。
家族一同より



「健くん、入学おめでとう！」

健君、小学校入学おめでとうございます！健君は、生きていくことも危ぶまれる脳の重い病気をもって生まれてきました。病院で手厚い治療を受け、命の危険が低くなつて、1歳のお誕生日に療護園に入園してきました。

健君は、生まれつきの病気による不自由だけでなく、新たな異常も伴つてきています。しかし、天から与えられた類まれな強い生命力とご家族と療護園のスタッフの深い愛情と手厚い看護と介護ですくすく育ち、輝かしい素敵なかみ笑顔を見せてくれています。健君の笑顔がいつまでも続くことを心から願っています。

福島整肢療護園 園長 渡邊信雄

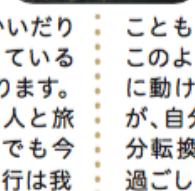


スタッフ通信
りょうご園
カフェへ
ようこそ！

このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどなどを自由におしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも！

第17回は、りょうご園ひかり館看護師の森内友香さんです。

こんにちは！りょうご園ひかり館看護師の森内友香（もりうちゆか）です。私の普段のリフレッシュ方法について紹介しようと思います。1つめは、観葉植物を育てることです。新しいものを購入したり、大きく成長したものを株分けしていたら、今では部屋の中がジャングルのようになってしまいました。水やりが大変だなと思う時もありますが、新芽を見つけていたり、きれいな花が咲いてその匂いをかいだりすると、植物も生きているんだなあと嬉しくなります。2つめは、家族や友人と旅行へ行くことです。でも今年はコロナのため旅行は我



慢だな…と思っていたところ、友人が素敵な雑貨屋さんを紹介してくれて、先日一緒に花雑貨作りをしてきました。

そのお店は、勿来のparantajatonton（パランタヤトントン）さんです。おしゃべりしながら写真立ての飾り付けとリース作りをして、とても楽しかったです。興味のある方は、立ち寄ってみてください。

人と関わる仕事はやりがいがありますが、時には疲れやストレスを感じることもあるかと思います。このような時期で思うように動けないこともあります

が、自分に合った方法で気分転換をして、健やかにお過ごしくださいね。



寄附者ご芳名 (令和2年度)

ご支援をいただきました皆様へ、深く感謝を申し上げます。

- 笠井 修通
- ケアステーショングリーンハピネス
- 高岡 忠
- 鈴木 生央
- 医)佐々木附属外科 理事長 佐々木栄一
- 渡辺 コウ子
- 猪狩 泰典

- 太丸屋三延(株)
- 股部 芳裕
- 北関東空調工業(株)
- (公)相双キリスト教学園
- 内郷キリスト福音協会
- 遠藤 孝一
- (順不同・敬称略)

